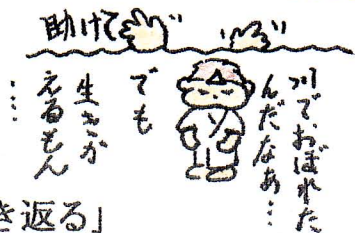


英語を楽しく



☆ 欧米人がびっくり「日本人は死んでも生き返る」

ことの成り行きは・・・

正夫と John がある日、怖かった体験の話をしていた。その時、正夫は、5歳のころ川でおぼれたことを思い出して、John に言った。

“John, I have drown in the river when I was 5 years old”

正夫は、

「そうそう学校で習った現在完了経験の英文法を使ったらいいのだ。」 I have drown
 だ7
 と思って自信を持って言ったのですね。ところが、おぼれたことあるよ

John : Really? Have you drown・・・?

と聞いたので

Masao: Yes, I have drown. I almost died.

John は、正夫が信じられなくなりました。



彼は死んだのだ!

二人の話の内容がお互いにわからなかったのですね。正夫は、確かに5歳の時、溺れた経験があるのですが、それを完了形で言ってしまったところに誤りがあるのですね。つまり、溺れたことがあるということは、完了ですから、「おぼれた=死んでしまった」と言うことを表します。

John にとっては、一度死んだ正夫が、今自分と話しているのですから、不思議で仕方がないわけです。また、I almost died. と「もう少しで死ぬところだった。」と後で言ったものですから、訳が分からなくなったのです。

正夫は

I was almost drowned in the river・・・か

I almost drowned in the river・・・

と言うべきでした。

drown <自動> 溺れる

<他動> ..を溺れさせる

参考

I have lost my wallet. という、「財布を無くしてしまった。(今もない)」ですが、

I lost my wallet. 「財布をなくした。」(けれども、その後見つかったのか、見つかっていないのか
 わからないのですね



I have lost my wallet.



まだ不明

どちら思う?



I lost my wallet.

それでさあきみのサマ
 見つかったの?

